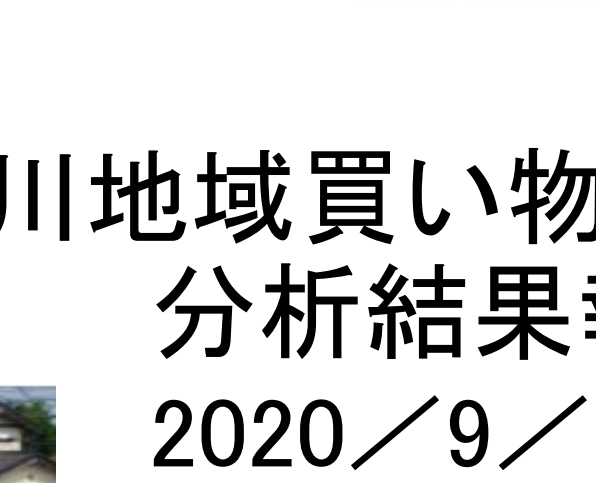
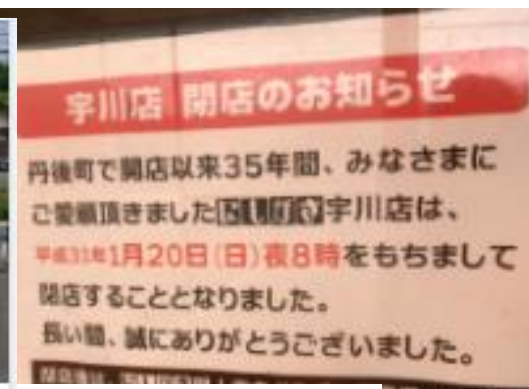




宇川地域買い物アンケート 分析結果報告 2020／9／21 今里ゼミナール



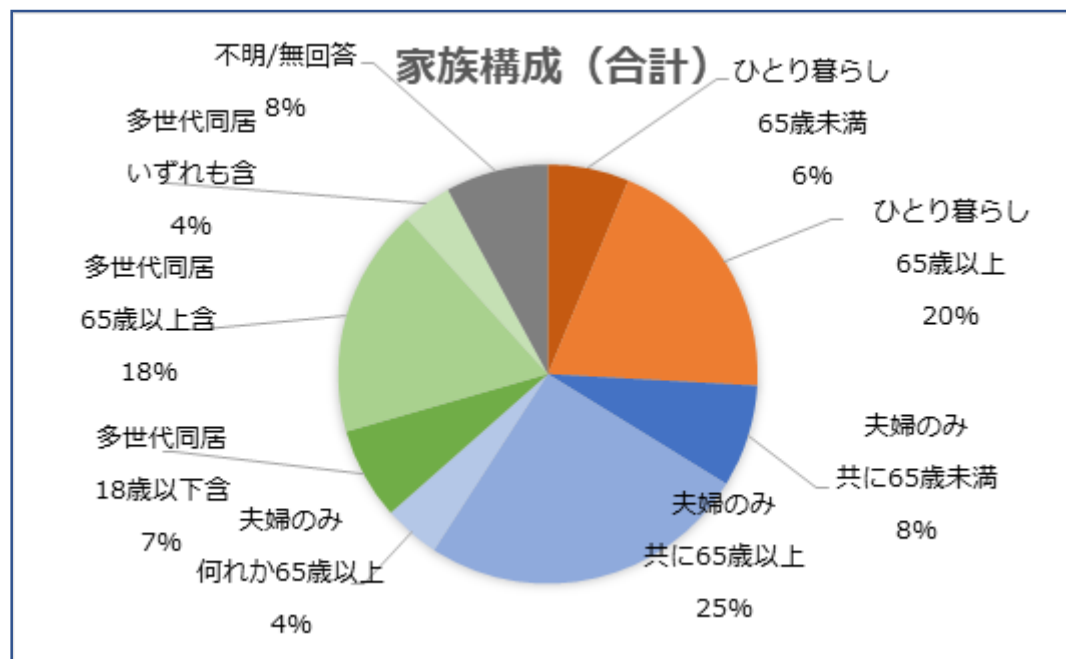
調査の概要

- 実施主体 宇川連合区長会「宇川地域づくり準備室」
- 協力機関 京丹後市丹後市民局・京丹後市社会福祉協議会
- 実施期間 平成31年1月25日～2月3日
- 実施目的
 - にしがき宇川店」閉店後の買い物支援のニーズや要望を把握し今後の買い物環境整備や買い物弱者支援に活かすこと
- 対象 宇川全戸
- 調査・集計 区から隣組を通じてアンケートを配布・回収：14区でとりまとめ
京丹後市社会福祉協議会が集計結果とりまとめ
- 分析主体 龍谷大学今里ゼミ
- 分析期間 2020年5月24日～7月20日
- 分析内容
 - 宇川地域における買物行動の実態を明らかにするとともに、買い物支援がどれほど必要なのか、どのような買い物支援が望まれているのかを、分析及び考察
- アンケート調査回答状況
 - 569世帯に対して調査票を配布、367世帯から回収
 - 回収率64.5%

回答者の年齢・家族構成

- ★家族構成類型では高齢者のいる世帯の割合が多い。
- ★高齢者のみの世帯が全体の40%。
- ★ひとり暮らし世帯の75.8%は高齢者世帯
→近い将来、買い物に困難を抱える年齢層が多い。

- ・最も多いのは「夫婦ふたり暮らし & 共に65歳以上の世帯」93世帯（25.3%）
- ・ひとり暮らし世帯は全体の26%、95世帯中72世帯が65歳以上(75.8%)
- ・多世代同居世帯も3割近くを占める。
- ・但し、18歳以下の子ども・若者がいる世帯は、11%（40世帯）



買い物に行く手段（1）（単純集計結果）

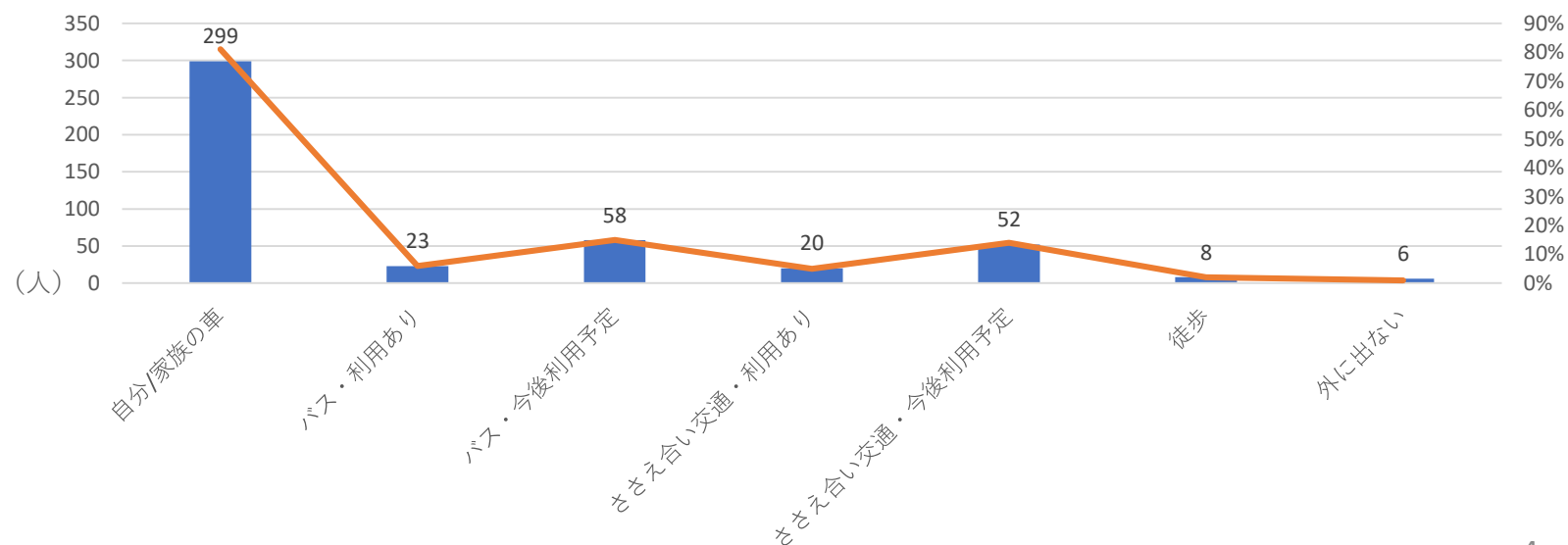
★現在は、「自家用車」の利用が圧倒的に多い。

★バスや支えあい交通を今後利用したい人も一定数いる。

→現在の自家用車利用世帯も、将来的にはその他の手段が必要になる？

- 自家用車の利用は全体の81.4%（299世帯）。
- バス（6%）や支えあい交通(4.1%)の利用率は低い。
- 今後の希望まで含めると、バス（15.8%）や支えあい交通（12.8%）の利用増加が見込まれる。

買い物に行く移動手段（宇川全体）



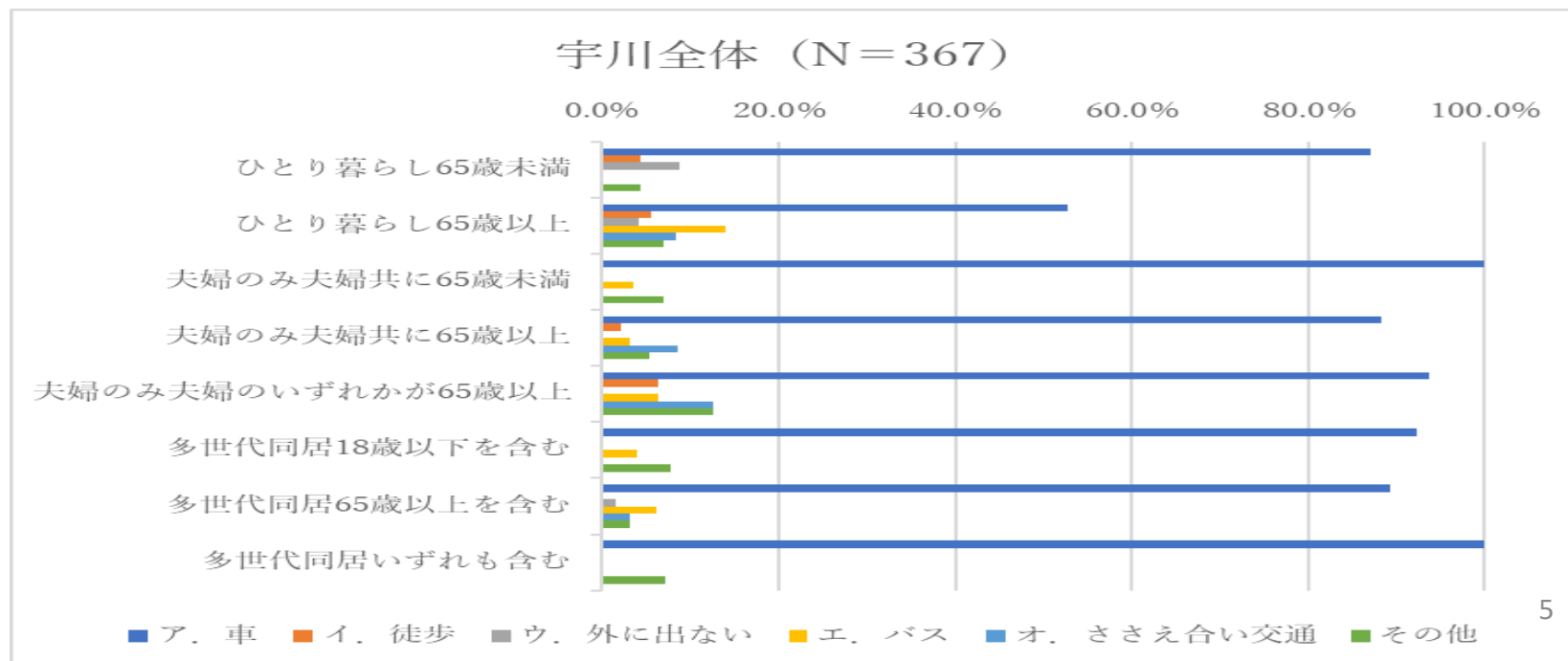
★家族構成によって買い物手段が異なる。

★ひとり暮らしの高齢世帯は自家用車利用率が低い(52.8%)。

★『バス』『支えあい交通』の利用者は相対的に65歳以上を含む世帯が多い
→高齢者世帯を中心に、いまずぐ買い物支援が必要な世帯があるのでは。

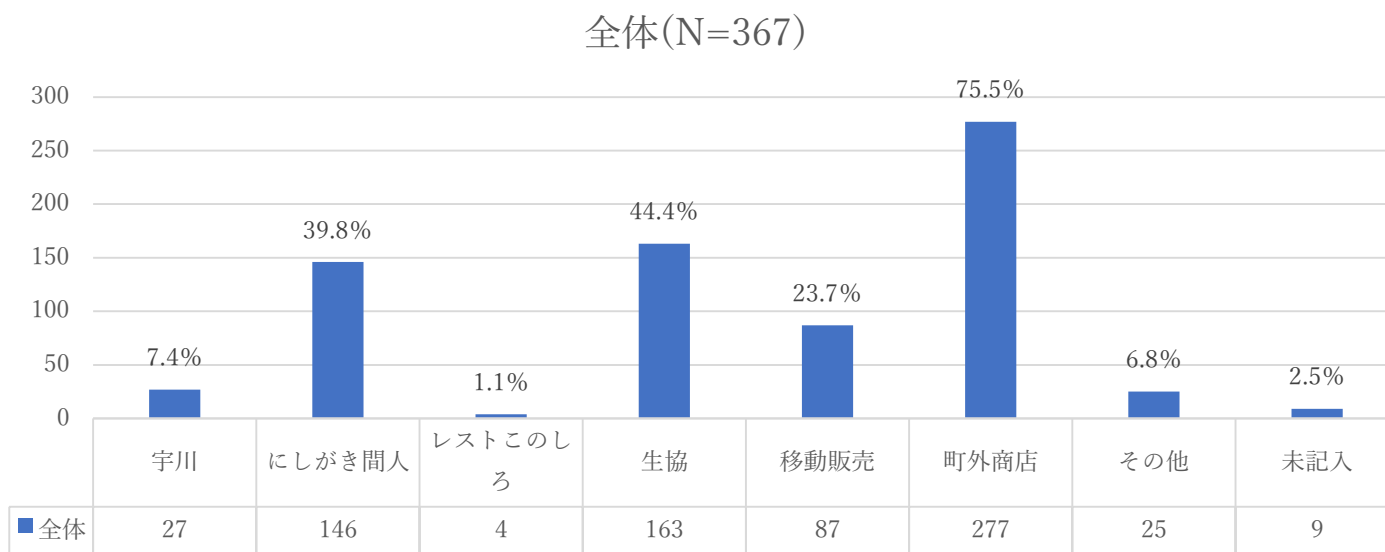
- 65歳未満世帯、若い世代含む多世代同居世帯は『自家用車』利用率100%。
- 一人暮らし65歳以上の自家用車利用率は52.8%。
- 『バス』の利用率は65歳以上を含む世帯で7.3%（ひとり暮らし高齢世帯14%）で、それ以外の世帯（2.6%）と比べると多い。

→今後もバスや支えあい交通の利用の増加が考えられる



- ★全体的には「丹後町外商店」利用の割合が高い(367世帯中277世帯(75.5%))
- ★町外や間人の固定店舗の他に、生協や移動販売などを利用する人も多い。
→実店舗＋生協や移動販売という組み合わせが多く、どちらも重要。

- 買い物場所は、町外商店(277世帯：75.5%)、生協（163世帯：44.4%）にしがき間人店(146世帯:39.8%)、移動販売（87世帯23.7%）の順に多い。
- 町外商店は、マインなど、比較的大きなスーパーが利用されている。
- 町外商店と、生協、移動販売などを組み合わせて使っている人が多い（後述）。

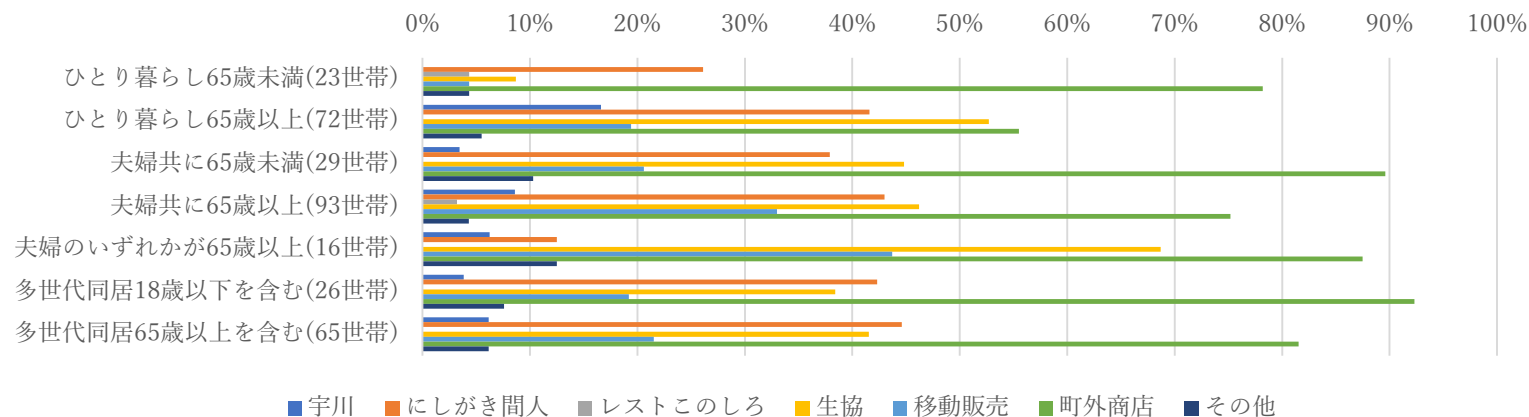


買い物をする場所（2）家族構成別買い物場所

- ★若い世代はほとんどが丹後町外商店で買い物。
- ★丹後町外商店で買物をしない世帯のほとんどが高齢者を含む世帯。
- ★ひとり暮らし高齢者を中心に生協や移動販売しか利用していない世帯もある。

- ・「ひとり暮らし65歳以上の世帯(72世帯)」
 - ・町外商店利用が40世帯(56%)、生協利用が38世帯(53%)、にしがき利用が30世帯(42%)
- ・「夫婦共に65歳以上の世帯(93世帯)」
 - ・町外商店利用が70世帯(75%)、生協利用が43世帯(46%)、にしがき利用が40世帯(43%)
- ・「多世代同居で65歳以上を含む世帯(65世帯)」
 - ・町外商店利用が53世帯(82%)、にしがき利用で29世帯(45%)、生協利用で27世帯(42%)
- ・「夫婦のいずれかが65歳以上の世帯(16世帯)」
 - ・町外商店利用が14世帯(88%)。生協11世帯(69%)、移動販売利用で7世帯(44%)

家族構成別(割合)



★買い物パターンは、
町外商店＋にしがき間人＋生協＋移動販売で使い分けている人が多い。

- 町外商店で買物をする世帯（277世帯）の買物行動
 - 251世帯（92％）は自家用車で買物をする世帯
 - 113世帯が「生協」
 - 109世帯が「にしがき間人」
 - 59世帯が「移動販売」で買い物
 - 自家用車があり、いろいろなところで買い物をする世帯（全体の2分の1～3分の1程度）は、用途に応じて、買物場所を使い分けることのできる世帯（買い物強者？）と考えられる。
 - 町外商店以外では買物をしないという世帯は84世帯

	上宇川	下宇川
一暮らし 65歳未満	〈8世帯〉 ・にしがき間人＋町外商店 ・にしがき間人＋生協＋移動販売＋町外商店	〈15世帯〉 ・にしがき間人＋町外商店 ・にしがき間人＋生協＋町外商店
一人暮らし 65歳以上	〈25世帯〉 ・生協＋町外商店（×2） ・にしがき間人＋生協＋町外商店（×2） ・にしがき間人＋町外商店（×2） ・にしがき間人＋生協＋町外商店（マイン） ・宇川＋町外商店（×2） ・生協＋移動販売（×2） ・にしがき間人＋移動販売＋町外商店 ・にしがき間人＋町外商店＋その他（ネット販売） ・にしがき間人＋生協 ・宇川＋移動販売 ・宇川＋生協	〈47世帯〉 ・生協＋町外商店（×7） ・にしがき間人＋生協＋町外商店（×6） ・にしがき間人＋町外商店（×5） ・にしがき間人＋生協（×2） ・生協＋移動販売（×2） ・にしがき間人＋生協＋移動販売（×2） ・にしがき間人＋移動販売 ・生協＋移動販売＋町外商店 ・移動販売＋町外商店 ・宇川＋生協 ・宇川＋町外商店 ・宇川＋町外商店＋その他（ネット販売）
夫婦のみに 65歳未満	〈11世帯〉 ・にしがき間人＋町外商店（×2） ・生協＋町外商店（×2） ・にしがき間人＋移動販売＋町外商店（×2） ・にしがき間人＋町外商店＋その他（ネット販売） ・にしがき間人＋生協＋町外商店 ・生協＋移動販売＋町外商店 ・宇川＋にしがき間人＋移動販売＋町外商店	〈18世帯〉 ・生協＋町外商店（×5） ・生協＋移動販売＋町外商店（×2） ・にしがき間人＋町外商店（×2） ・にしがき間人＋移動販売＋町外商店 ・にしがき間人＋生協＋町外商店（にしがき弥栄）

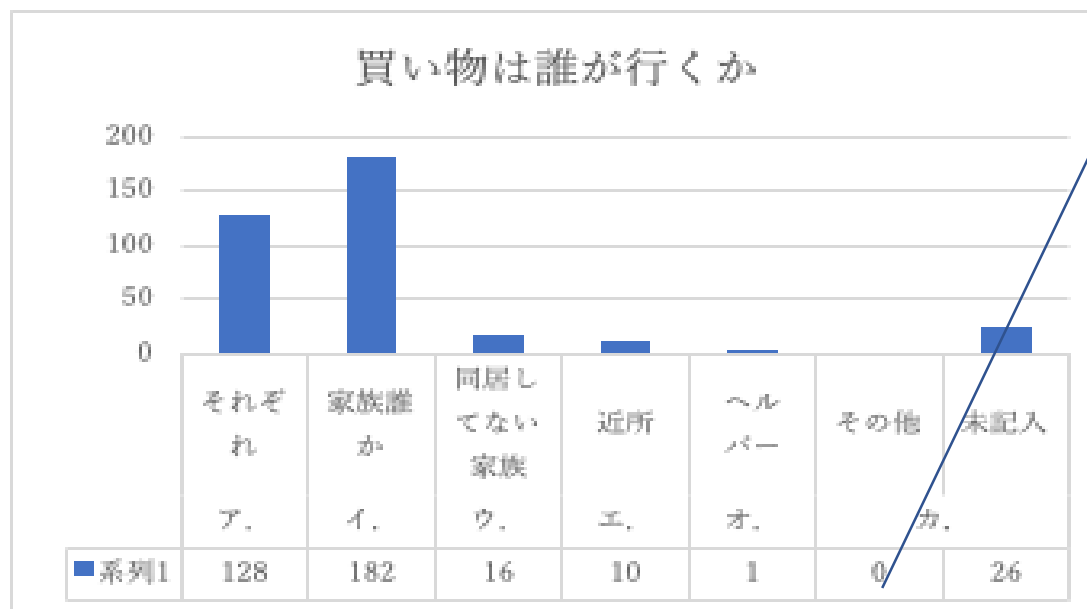
夫婦のみ ともに 65歳以上	〈28世帯〉 ・にしがき間人＋町外商店（×6） ・生協＋町外商店（×2） ・宇川＋にしがき間人＋生協＋移動販売（×2） ・にしがき間人＋生協（×2） ・生協＋移動販売（神村商店）＋町外商店 ・生協＋移動販売＋町外商店 ・宇川＋にしがき間人＋生協＋町外商店 ・にしがき間人＋生協＋町外商店 ・にしがき間人＋移動販売	〈65世帯〉 ・にしがき間人＋生協＋移動販売＋町外商店（×7） ・生協＋町外商店（×6）（マイン、さとう） ・にしがき間人＋移動販売＋町外商店（×5） ・にしがき間人＋町外商店（×5）（マイン、にしがき峰山、網野、弥栄） ・生協＋移動販売＋町外商店（×5） ・移動販売＋町外商店（×3） ・移動販売＋町外商店（×2）（マイン、にしがき弥栄、峰山、網野） ・にしがき間人＋生協＋町外商店（×2） ・宇川＋生協（×2） ・レストこのしろ＋生協＋移動販売 ・生協＋移動販売 ・宇川＋町外商店 ・にしがき間人＋生協＋移動販売 ・にしがき間人＋レストこのしろ＋町外商店 ・生協＋町外商店（にしがき駅前店、エール） ・にしがき間人＋生協
夫婦のみ いずれか が65歳以上	〈3世帯〉 ・生協＋町外商店 ・生協＋移動販売＋町外商店	〈13世帯〉 ・生協＋移動販売＋町外商店（×3） ・にしがき間人＋生協＋町外商店（×2） ・生協＋町外商店（×2） ・移動販売＋町外商店（×2）（小市郎） ・宇川＋生協＋町外商店（マイン、さとう） ・生協＋移動販売（神村商店）

多世代同居 18歳以下を含む	〈14世帯〉 ・にしがき間人＋町外商店（×5） ・生協＋町外商店（×3） ・にしがき間人＋生協＋町外商店（×2） ・にしがき間人＋生協＋移動販売＋町外商店 ・移動販売＋町外商店 ・生協＋町外商店（イオン福知山） ・宇川＋にしがき間人＋町外商店 ・にしがき間人＋生協＋町外商店＋その他（ネット販売） ・にしがき間人＋移動販売＋町外商店	〈12世帯〉 ・移動販売＋町外商店（×2） ・にしがき間人＋町外商店（×2） ・にしがき間人＋移動販売＋町外商店 ・生協＋移動販売 ・生協＋移動販売＋町外商店 ・にしがき間人＋生協＋移動販売＋町外商店 ・にしがき間人＋生協＋町外商店 ・にしがき間人＋生協＋町外商店
多世代同居 65歳以上を含む	〈24世帯〉 ・にしがき間人＋町外商店（×6） ・にしがき間人＋生協＋町外商店（×4） ・生協＋町外商店（×2） ・宇川＋町外商店（マイン、にしがき峰山） ・宇川＋にしがき間人＋移動販売 ・生協＋移動販売 ・生協＋移動販売＋町外商店	〈41世帯〉 ・生協＋町外商店（×9） ・にしがき間人＋町外商店（×4） ・にしがき間人＋生協＋町外商店（×3） ・にしがき間人＋移動販売＋町外商店（×3） ・移動販売＋町外商店（×2） ・にしがき間人＋移動販売 ・生協＋移動販売 ・宇川＋生協＋移動販売 ・生協＋町外商店＋その他 ・宇川＋にしがき間人＋生協＋移動販売＋町外商店 ・生協＋移動販売＋町外商店 ・にしがき間人＋生協＋移動販売

買い物をする人（1）基本集計

- ★買い物は同居の家族の誰かが行く割合が92%。
 - ★同居していない家族まで入れると、「家族」だけで買い物する割合は96%
 - ★家族以外の人に買い物を頼む人は少ない。
- 「家族」が買い物に行けない世帯の買い物が将来大きな課題となるのでは？

- 「家族それぞれが買い物に行く」が35%、「家族の誰かが行く」が50%（回答数341）
- 全体の92%は同居の家族の誰かが買い物。
- 同居していない家族が買い物する世帯を含めるとその割合は96%。
- 近所の人に頼む人は10世帯、ヘルパーに頼む人は1世帯。
- 家族以外にもっぱら買い物を頼んでいる世帯はわずか4世帯。

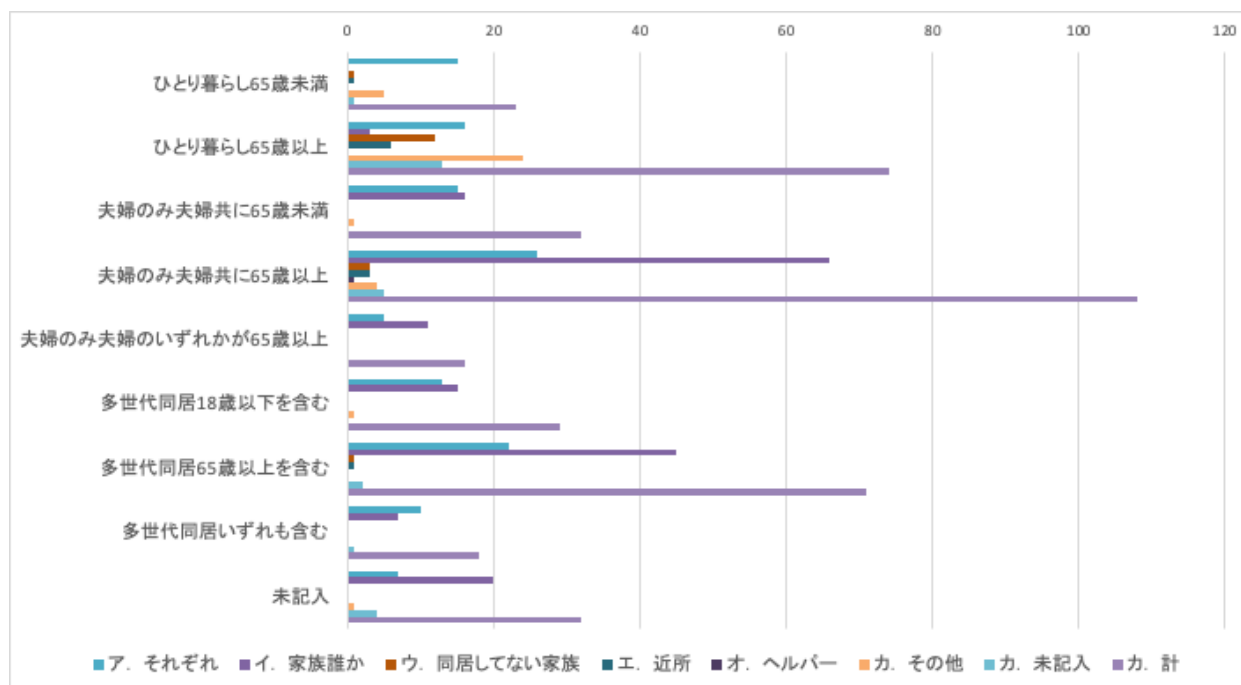


その他
(26) の殆どは、「ひとり暮らし」高齢者が自分で買い物するという回答のため別途集計。

買い物をする人（2）家族構成からみる「買い物をする人」

- ★ひとり暮らしの高齢者は、多くが、自分一人で買い物を済ませている。
- ★但し、「同居していない家族」に買い物を頼む人も多い。
- ★高齢夫婦世帯は、現在は車を利用し、本人または身内で買い物を完結
→将来どうなる？

- ・単身高齢者72世帯のうち40世帯が本人だけで買い物を完結。
 - ・同居していない家族に買い物を頼む世帯は12世帯。
- ・高齢者夫婦88世帯のうち、80世帯が夫婦のみで買い物を完結。
 - ・そのうち76世帯が自家用車を使用。

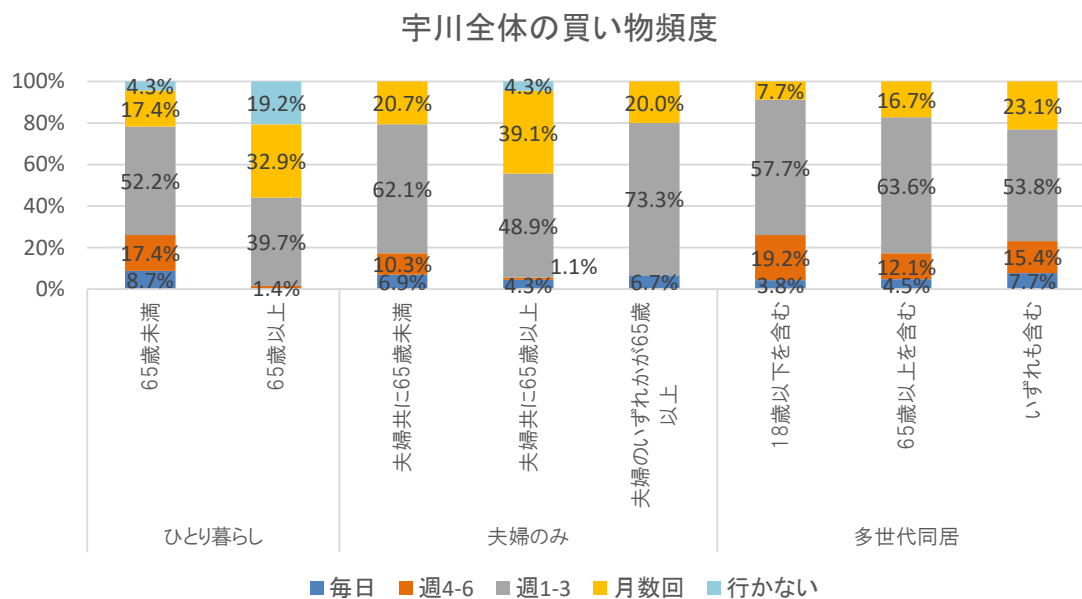


- ★ 今後は、買い物困難な人を支える仕組みが必要になってくる。
- ★ 家族以外のサポートを気軽に受けられるような意識づくりも大事。

- 宇川には単身高齢者、夫婦共に高齢者の割合が多い。
- 今は、買い物を自家用車を使用している世帯が最も多い
- たとえ高齢になっても家族だけで買い物を済ませている。
- 単身高齢者の中には「同居していない家族」に支援を受けている世帯もあったが、「近所の人」や「ヘルパー」の支援を受けている世帯はごく少数
- ↓
- これからさらに高齢化が進んでいくことを考えると、家族以外の人が買い物をサポートしていく仕組みが必要。
- 同時に、家族以外の人へのサポートも気軽に受けることができるような意識づくりも大事。

- ★買い物頻度は「週1～3回」が半数以上を占めている。
- ★家族構成別に見ると、65歳以上の世帯の買い物頻度は低い

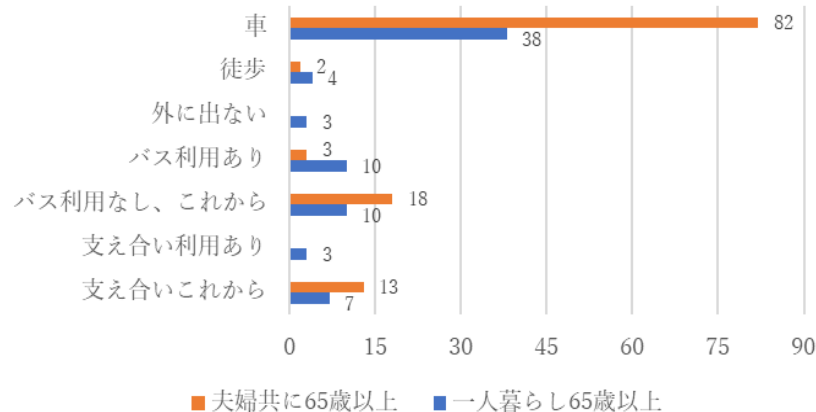
- 宇川全体では「週1～3回」が367世帯中193世帯(52.2%)
- 「月に数回」が26.1%、「週4～6回」は7.35%。
- ひとり暮らしや65歳以上の世帯では「月数回」、「行かない」の割合が40～50%を占める。
- 一方、65歳未満世帯や多世代同居世代では、買い物頻度が多い傾向が見られる。



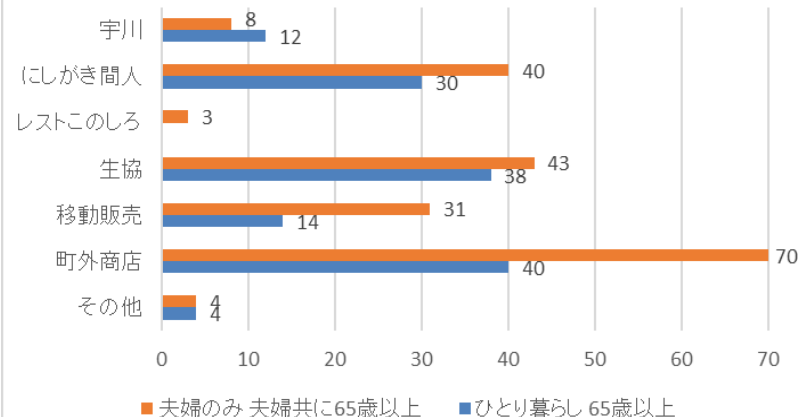
★「65歳以上の世帯」で比較的買い物に出る頻度が高い世帯は殆どが車で移動。

- 65歳以上世帯の移動手段は72.7%(120/160世帯)が「車」で、買い物場所は半数以上が「町外商店」を利用。
- そのうち「週1～3回」を選択した回答者の90%近くが、移動手段に「車」を利用
- 車利用ができなくなるなど、頻度が下がる傾向にある。

65歳以上の世帯の移動手段の回答数



65歳以上の世帯の買い物をするお店



★買い物頻度が下がる傾向は、下宇川により大きく見られる。

★にしがき閉店は、下宇川の住民の買い物行動により大きな影響を与えた可能性がある。

- 宇川全体の頻度は「変わらない」が50.7%、「減少する」が49.2%と約半数ずつである。
- 上宇川でも、「減少する」が43.1%で半数を超えていないが、下宇川のみで見ると、頻度が「減少する」が52.6%と半数を超える

買い物頻度

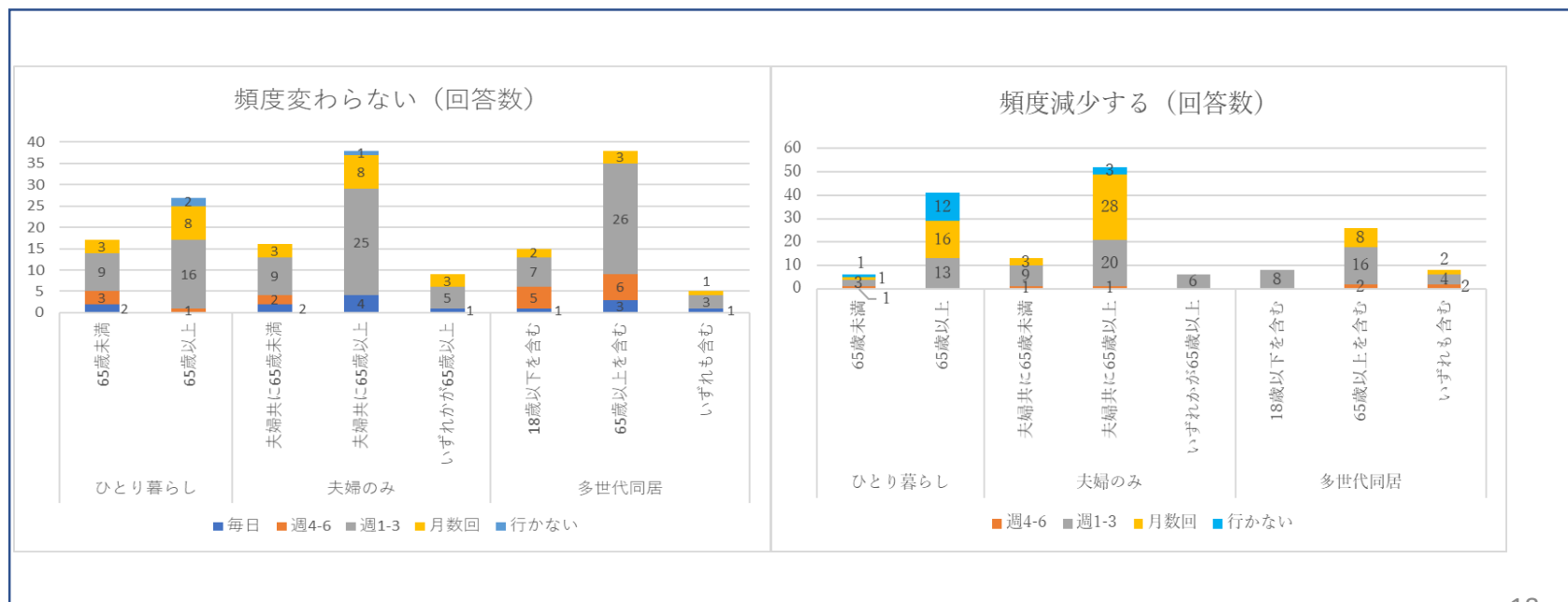
	宇川全体	上宇川	下宇川
変わらない	165 世帯(50.7%)	66 世帯(56.8%)	99 世帯(47.3%)
減少する	160 世帯(49.2%)	50 世帯(43.1%)	110 世帯(52.6%)

買い物頻度（4）家族構成からみる買い物頻度の変化

★家族構成ごとに見ると、65歳以上の世帯の頻度は減少している。

★多世代同居や65歳未満の世帯では、変化がない割合が高い。

- 65歳未満のいる世帯では、約6割が頻度は変わらない。
 - 65歳未満の一人暮らしの73.9%、若い世代含む多世代世帯では、65.2%が頻度変わらない。65歳未満の世帯では80%以上が、移動手段の車を持っているため、頻度は変わらないのではないかな。
- 65歳以上の世帯では、半数以上が「減少する」。



- ★買い物手段、買い物場所や住んでいる場所は頻度に影響している
- ★車を利用する世帯の方が頻度は変わらない傾向にある。
- ★上宇川よりも下宇川の方が、頻度が減る世帯の割合が多い。
- ★家族構成や年齢により、頻度の変化が現れやすい
- ★65歳以上世帯は頻度が減る傾向にある。
- ★若い世代がいる世帯は、頻度はあまり変わらない。

	65歳未満	65歳以上	共に65歳未満	共に65歳以上
変化なし	74% 17世帯)	40% 27世帯)	55% 16世帯)	42% 38世帯)
減少する	26% 6世帯)	60% 41世帯)	45% 13世帯)	58% 52世帯)

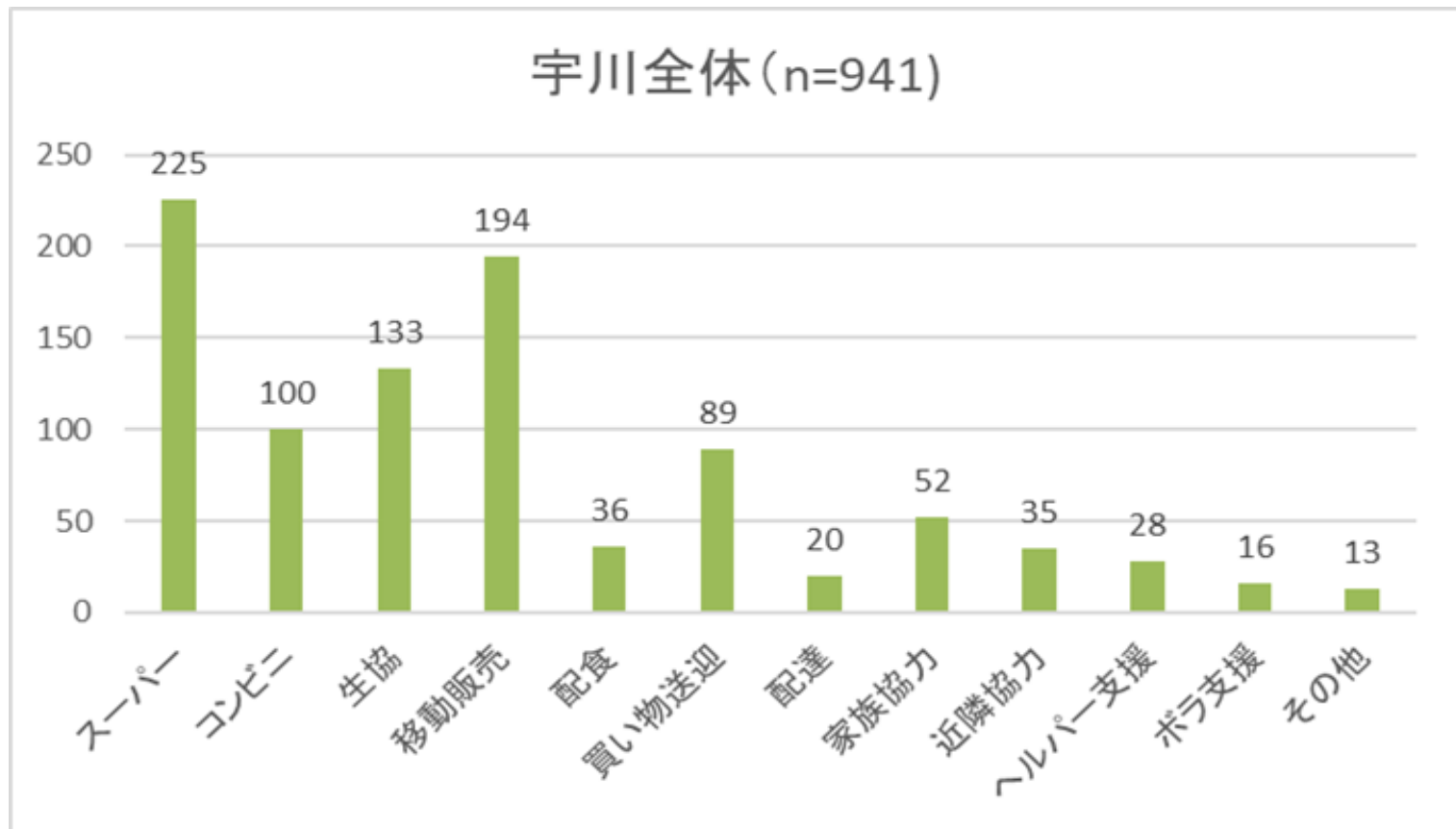
いずれかが65歳以上	18歳以下を含む	65歳以上を含む	いずれも含む	計
60% 9世帯)	65% 15世帯)	59% 38世帯)	33 4世帯)	51% 165世帯)
40% 6世帯)	35% 8世帯)	41% 26世帯)	67 8世帯)	49% 160世帯)

今後必要なもの（1）基本集計

★宇川全体ではスーパー、移動販売、生協が上位3項目を占めている

★現在は利用されていないが、買い物送迎や近隣協力も今後必要とされている。

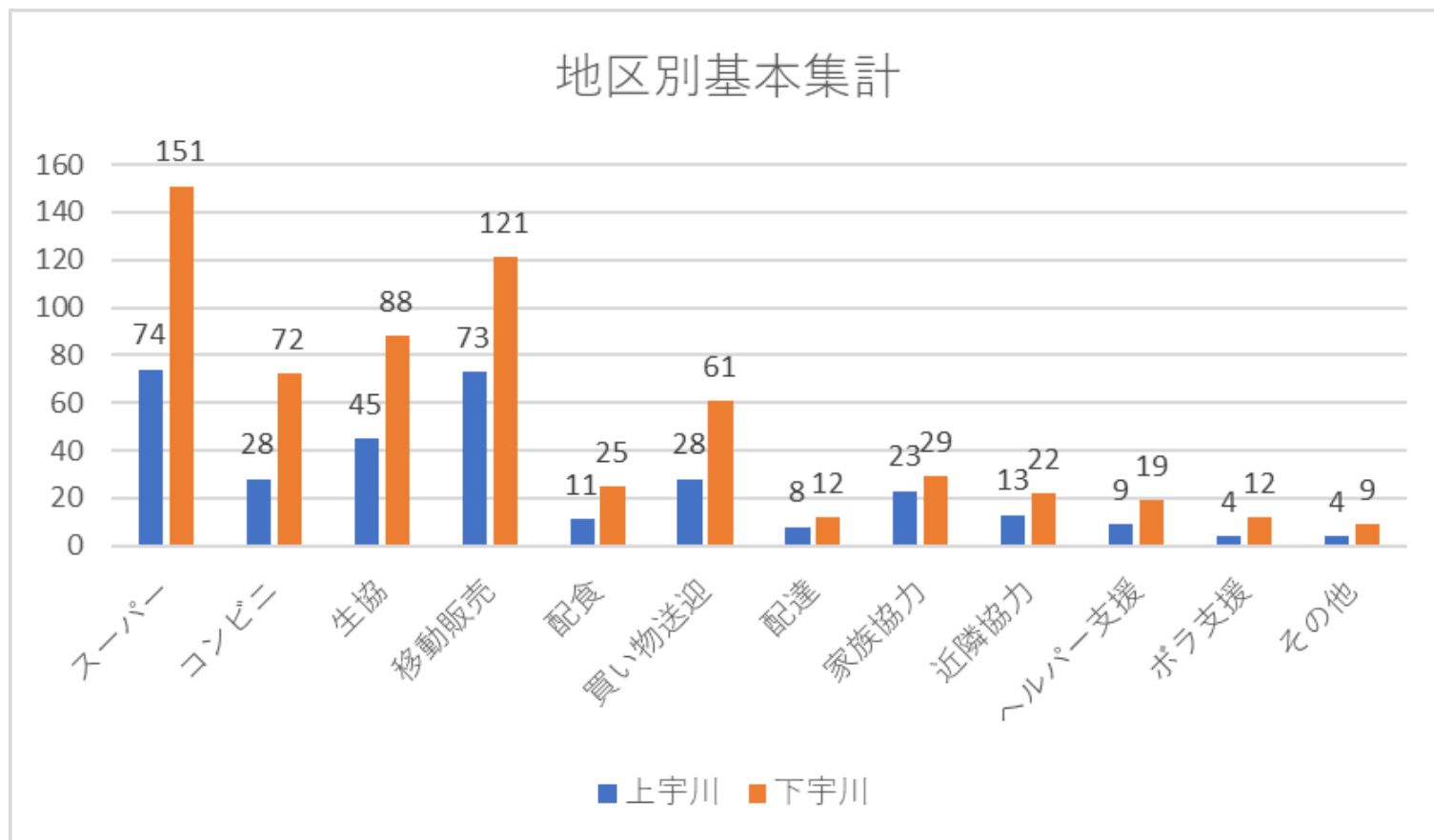
- 上位3項目は、スーパー（225票：23.9%）、移動販売（194票：20.6%）生協（133票：14.1%）
- 買い物送迎89票（9.4%）や近隣協力35票（3.7%）などを必要と考えている人もいる。



今後必要なもの（2）地域別「今後必要なもの」

- ★下宇川のほうがスーパーを必要と思っている住民の割合が多い。
- ★上宇川では、スーパーと移動販売が同じ程度で必要とされている。
- ★細かく地区ごとに見てみると地区ごとに必要とされるものが異なっている。

- ・スーパーを必要と回答した割合は、下宇川の方が高い（下宇川：63.4%、上宇川：57.4%）。
- ・上宇川では、移動販売を必要と考える人の割合が高い（56%）。
- ・地区ごとに差があり、山手の上山地区では近隣協力、国道沿いの尾和地区では移動販売それぞれ一位を占めている。



今後必要なもの（3）家族構成別「今後必要なもの」

★1人暮らし65歳以上は移動販売や生協への要望が多い。

★65歳以上の世帯は、スーパーへの要望も強いが、移動販売や生協、買い物送迎の要望も多い。

★65歳未満の一人暮らし、若い世代のいる世帯ではコンビニ要望強い。

★その他の世帯はスーパー、移動販売への要望が強い。

	1位	2位	3位
1人暮らし65歳未満（23世帯）	スーパー （14票）	コンビニ（12票）	移動販売（9票）
1人暮らし65歳以上（72世帯）	移動販売 （39票）	生協（33票）	スーパー（29票）
夫婦のみ共に65歳未満（29世帯）	スーパー （14票）	移動販売（13票）	コンビニ（12票）
夫婦のみ共に65歳以上（93世帯）	スーパー （61票）	移動販売（55票）	生協（38票）
夫婦のみいずれか65歳以上（16世帯）	スーパー （14票）	移動販売（9票）	生協（6票）
多世代同居18歳以下含む（26世帯）	スーパー （21票）	移動販売（13票）	コンビニ（12票）
多世代同居65歳以上含む（65世帯）	スーパー （47票）	移動販売（38票）	生協21票）
多世代同居18歳未満・65歳以上含む （14世帯）	スーパー・ 移動販売（9 票）	買物送迎（7票）	生協（5票）

★移動販売を選択している世帯では7割以上が65歳以上

★生協と移動販売を組み合わせで選択している人が84世帯と多い

- 移動販売が必要だとした**194**世帯のうち**48%**が高齢者のみの世帯
- 生協を選んだ**133**世帯のうち移動販売と組み合わせている世帯は**84**世帯（**63.1%**）
 - 買い物に自力で行けない人
- 買物送迎将来利用したい
- スーパー 移動販売→直接みたい

家族類型ごとに必要とするものが異なる

●高齢者を含む世帯

- ・家の近くまで来てくれる買い物手段が必要
- ・お金を払って支援を必要としてる人もいる
- ・早急な買い物支援が必要な人もいる。

●65歳未満を含む世帯

- ・コンビニなどが必要だと考える世帯が多い。

●多世代同居世帯

- ・多様なニーズがある。

団体に期待すること（1）期待する団体としてあげられているのは

★全体的に行政への期待度が高い。

★区長会にも期待が集まる。

- 全体の回答が**198**のうち、行政に期待するとの回答が**130**
- 回答者の**65%**が行政に期待している
- 区長会への期待も多く、回答者の**37.4%**が区長会に期待と回答。
- NPO,事業者への期待も一定程度ある。

期待する団体	回答数
行政	130
区長会	74
NPO	44
事業者	42
社協	18
その他の団体	8

団体に期待すること（2）各団体に期待すること

- ★行政や区長会には、店舗誘致への要望が強い。
- ★NPOには、移動関係の要望が強い。
- ★事業者には移動販売やバス増便などの要望が多い。
- ★社協には高齢者向けの情報提供や支援を求める声が多い。

行政への期待	130件	事業者への期待	42件
・ 店舗誘致	71件	・ 店舗誘致	16件
・ 移動関係	9件	・ 移動販売	12件
★行政には店舗誘致への期待が大きい。		・ 移動手段	4件
区長会への期待	74件	★事業者には店舗誘致や移動販売への期待が大きい。（9件はいととめ） ★丹海バスに増便や値段について野要望も	
店舗誘致	15件		
移動関係	5件	社協への期待	18件
NPOへの期待	44件	・ 高齢者への支援	5件
・ 店舗誘致	2件	★社協には高齢者向けの情報提供や支援を求める声が多い。	
・ 移動関係	12件		
★NPOにはデマンドバス運行や送迎などに期待集まる。			

団体に期待すること（２）移動に関する要望

- ★買い物送迎の充実やデマンドバスの運行が期待されている。
- ★移動手段をもたない人への支援が求められている。
- ★間人までの運行など、移動範囲の拡大がのぞまれている。

区長会	- 移動手段を充実させて欲しい - 移動販売の種類や回数を増やして欲しい - 車が無い家庭への支援を充実させて欲しい	NPO	- デマンドバスを間人まで運行 - 移動手段の充実 - 間人のにしがきまで回数券付きで送迎 - 最低月一の買い物送迎 - 広範囲への移動を可能に - 買い物送迎サービス - 他町への送迎
行政	- デマンドバスの大きさが宇川の実態にあってないのでないか？ - もっと小さくても良いのでは？ - 移動手段を持たない人への支援を充実させて欲しい - 買物便を格安で運行して欲しい	事業者	- 丹海バス、増便してほしい - 丹海バスの宇川間人間の料金を安くしてほしい
社協	- 移動のあいりコーディネート - 買い物送迎サービス - 運転ボランティア、アルバイトの募集 - 高齢者向けの移動支援		

団体に期待すること（3）買い物に関する要望（その1）

- 行政への店舗誘致の期待が大きい
- 区長会には移動販売や店舗誘致の要望が大きい。
- 社協には高齢者への買い物支援の要望が強い。

区長会 移動販売	移動販売の種類や回数を増やしてほしい	行政	歩ける距離にお店を誘致して欲しい
店舗誘致	- 移動販売の充実させて欲しい - 移動販売の種類や宅配の充実させて欲しい		移動販売の種類や値段の充実、移動手段のない人への買い物支援を充実させて欲しい
その他	スーパーなどの企業誘致をして欲しい		- 生協の個別発注の手数料を助成してほしい - 直売所の設置を希望
	- 宅配などを安価にして欲しい - 生協をもっと充実させて欲しい - 宅配や移動販売が地区によって買えるものと買えないものの差が大きい(先に着くところが買って後に着く地区が売り切れで買えないなど)ので改善して欲しい	社協	高齢者への買い物支援
NPO	- 移動販売 - 店舗誘致		- 移動販売の継続（区長会、NPO、社協） - 配食サービスの充実 - 高齢者への買い物等の外出支援

団体に期待すること（3）買い物に関する要望（その2）

★宇川加工所へのお弁当屋さん

★事業者へはいととめへの要望

団体	• 宇川加工所；お弁当屋さん • 京都農協 • 生協；買い物難民をつくらない取組、移動販売 • JA：店舗誘導	事業者	• いととめの自動販売継続できてほしい • いととめさんに続けてほしい • 移動スーパーの充実 • いととめ2週間に一回でもいいからきてほしい • いととめで新鮮な品物の販売を期待 • 移動スーパーの充実 • 業務スーパーを誘致し、肉、野菜調味料などの販売 • （店舗誘致） • 商工会の店舗誘致 • 誰でも良いから店舗誘致してほしい • コンビニの店舗誘致 • にしがき跡地にさとうの店舗誘致 • 全て揃っているゴダイの誘致 • にしがき以外のスーパー²誘致
----	---	-----	---

団体に期待すること（3）内容別にみた各団体に期待すること(課題)

- 区長会や行政に多く記述がある
- 期待できないといった厳しい声も挙げられる。

区長会	- アンケートのみで期待できない - 期待できる人材がいない - 区長会が動かなければ誰もできない - 民意を吸い上げて欲しい - 困っている現状を行政に伝えて欲しい - 対応が遅い - 区長によって熱意の差がありばらつきを感じる	団体	- 店舗、移動販売の人の少なさ - どの団体が何をしてくれるかわからない
行政	- 自衛隊との連携 - 期待してない - 京丹後市に協力を求める - 行政が動いて欲しい - ここでしか生活できない人をないがしろにせずに支援して欲しい - 第三セクターによる店舗の運営 - 民意を組んで欲しい	NPO 社協 事業者	記述なし

団体に期待すること（3）その他、各団体に期待すること

- 社協には市民ボランティアやサロン活動などが期待されている
- 短期的なものでは支援方法の教示などが挙げられている。

区長会	記入なし
行政	記入なし
NPO	個の応援に期待している 大いに期待している
社協	個の応援 車が必要な人に意見を聞く 市民ボランティア 支援が必要な人向けの情報提供 支援方法の教示 サロン活動等の地域活動支援
団体	個の応援
事業者	鮮魚と干魚の販売 宇川加工所に大きいもの（ペットボトル1.8ℓ、瓶の調味料1.8ℓ）の販売 宇川温泉での物品内容を増やしてほしい（肉や魚） 宇川加工所でメニューを知らせて注文できおかずのみ販売希望 宇川加工所で日常のおかずが作れて、販売したい

困っていること（1）移動

- ・高齢や天候不順で車を運転できないと買い物が困難である。
- ・ちょっとした買い物をするだけでも交通費がかかってしまう

- 高齢者の足がなくて不便
- 生協の文字や記入欄が小さい
- 車が無いと生活できない
- 雪が降った時の移動が困難
- 移動販売を待つ時に待機場所に困る地区がある
- ちょっとした買い物(お菓子等)をするためにバスを使うのに往復400円は高い

★スーパーに出向いてまとめ買いをすることはできても、急な買い物やちょっとした買い物をすることが困難である

★実際に商品を見て買いたいという意見や商品の充実などを求める声もある。

- 急に必要なものが出来た時に買えない
- 食品の鮮度が良くない
- お店が少ない
- 賞味期限の期限で値段の付け方を変えて欲しい
- 生協や宅配も良いが実際に見たい
- まとめ買いができてでも急に買うことは出来ない
- 生鮮食料品が充実した店が欲しい
- 氷を調達して欲しい

アイデア（1）店舗誘致

★ミニスーパー ★週に何日か短時間営業の店、★給油できるコンビニ、★マリーナ、★バイパス沿いにコンビニ・軽食・★共同出資の店など。

- 宇川温泉に店舗を設置
- ミニスーパーマーケットの誘致
- 食品同業者などによる共同出店の設置
- 村おこしの気持ちで小規模でいいからスーパーを営業する努力をしてほしい
- 上宇川地区に中規模の商店
- （下宇川地区住人の仕事の行き帰りの若者によってもらえる）
- 給油もできるコンビニがあれば利用が増える
- 雪や雨がよく降る時は店が近いほうが便利
- どんな形でも大小に関わらず固定の店をつくること
- 中浜にマリーナ、釣り公園
- 新しいバイパス等（眺めの良い所）にコンビニ（スーパー）を隣に軽食
- 共同出資で小さな店でよいから、組合のような店をつくる
- にしがきを週、金土日でいいので開けてほしい
- 地元商店街の復活

★日用雑貨や食料品の要望があったがアイス等季節に応じた品物や生鮮食品など鮮度が求められる品物の要望が多い

- ロックアイス、アイスクリーム等の冷凍食品が購入できる店を近くに誘致
- 多くの種類を揃えなくてもいいから季節に合ったような必需品において欲しい
- 生鮮食品や日用品が身近なところで買える店
- 宇川に海があるからお客様のために食品、BBQの道具アイスなど買える場所欲しい
- アクティブハウスで日用品や惣菜などできる範囲で販売してほしい
- 小さなお店でもいいから、日用雑貨・食料品があったら良い

★定期的に買い物の送迎バスや移動販売を希望している。

★移動費の負担が大きいようだ。

- 買い物の日決めて送迎して欲しい
- ゴダイがくる
- 移動販売者が定期的にきて欲しい
- 週に1、2回程度一回あたり最低でも2時間程度、買い物可能な時間帯を設け移動販売者が来られるように手配して欲しい
- 週に1、2回時間を決めて買い物送迎バスが来て欲しい
- 毎日くる移動販売車
- 各部落何人かグループで丹海バスで峰山に買い物に行く、日を決めて
- 買い物送迎や移動販売の充実

★働く世代が移動販売を利用できていないため、平日の夕方に移動販売を希望する声がある。

★回数を増やすなどの要望も。

- 午前、午後、二日に一回など頻度を上げてきて欲しい
- いととめ以外にもお願いして来てもらう
- うるさいから静かにして欲しい
- 移動販売の日時を平日の夕方など便を増やしてほしい
- （若者は平日の日中は不在のため）
- いととめさんが移動販売に来てくれるのはありがたい
- お年寄りや運転できない人にとってはとても助かる
- 運転できなくなれば移動販売が週1回でもあると便利
- その時間に用事があり留守にしている時は利用できない
- 自分で商品を選ぶ、外に出るということも健康には重要

・移動販売で後に回る地区は品物があまりないため、商品の増加を望む声が多い

- 指定場所についての時に放送で知らせて欲しい
- 歳になると品物を選択することが難しいから時間に余裕を持ちたい
- 移動販売車の数を増やして欲しい
- 丹海バス内に保冷库設置を望む
- 始発地区は商品も充実しているかもしれないが、途中の地区は品切れになっているほしいものが売り切れてしまっているから移動販売車の充実をしてほしい

・地域で買い物をできるシステム・場所が求められている

- 中浜漁協の店の復活
- 常吉村のように小型ショップを作る
- 青果販売店が欲しい
- 地域で作る野菜や捕れる魚を地域で売れる店・システムが欲しい

- ・モノを売り買いできる場が求められている。
- ・ITを活用した動きももめている

- 家庭内の新しくても使っていないものを月に一度フリーマーケットとしてどこかが若い人たちがはじめてほしい
- 買い物ツアーが週に一度あれば移動販売だけでなく目先の変わったものが見られ人との交流もできる
- ネットスーパーやドローンを活用した配達
- AIを活用した無人コンビニ

- ・宇川に住む人の現状(高齢者や働く人)に合わせた支援が求められている
- ・地域の税金や動き等無駄があると考えられるものを改善する

- 土日の利用や定時運行など、運用の拡大を希望
- 生協が宇川の現状を考慮した配達回数や価格を設定すべき
- 生協の簡単な注文方法あるいは代わりに記入する人がいればいいと思う
- 車で配達に来るときに個配とは別に移動販売の時間を設けると良いと思う
- 生協で注文が難しい人への支援
- 米軍予算を宇川にまわす
- 地域で困った方がいれば手助けをして、みんなで支えあってできたらと思う
- 「困る方」と「少し不便になる方」を区別して対策を考えると良いと思う

まとめ

- 回答者は、高齢者のみの世帯が40%、ひとり暮らし世帯の8割が高齢者世帯など、近い将来、買い物に困難を抱えることが予想される年齢層が多い。
- 現在は、自家用車の利用が圧倒的に多く、家族の誰かが丹後町外の大きなスーパーまで足を伸ばし、買い物をすませている。
- しかし、高齢になると買い物場所はより近場になり、買い物頻度も少なくなる傾向がみられる。
- 一人暮らしの高齢者など、移動手段に事欠きながら、なんとか自力で買い物をしている世帯もある。
- バスや支えあい交通の利用や低調だが、将来的には利用したいと考える人もおり、今後は移動手段についての真剣な検討が必要である。
- また、現在の利用は低調だが、今後、「買い物送迎」を求める要望は強く、家族以外の誰かが買い物をサポートする仕組み作りが必要である。

- 買い物をする場所は、町外商店に生協や移動販売などを組み合わせている例が多いが、特に、高齢者は、家のそばで買い物ができることや宅配などが必要と考えている。
- 今後、宇川にはスーパーが必要だと考えている人は多いが、スーパーだけで事足りるわけではなく、移動販売や生協なども同時に必要とされている。
- さらに、買い物送迎や近隣協力、配食、など、これまでほとんど利用されていないものが必要になると考える人も多く、このような支援方法の検討も必要である。
- 買い物支援について、行政や区長会への期待は高い。
- 特に、店舗誘致については、行政と区長会への要望が多い。
- 行政として、拠点施設の整備の検討などが必要ではないか。
- 区長会としても宇川全体で買い物支援の取組が必要だ。
- **NPO**には、移動支援に期待が集まっている。
- 事業者にも移動や移動販売などに期待する声がある。
- 高齢者への支援については、社協への期待が高い。

- これらの課題に対しては、様々なアイディアも提案されている。
- 身近なところ、実店舗があつてほしいという希望は強く、惣菜や日用品の店を販売するところなど、たそが川というアイディアもある。
- ミニスーパーや給油コンビニなど、柔軟な形で小規模な店舗を運営してはどうかというアイディアもある。
- いずれにしても、今後、高齢化、単身化などが、一層進むことを考えると、早急な対応が必要である。

ご清聴ありがとうございました。